

CMI 株式会社

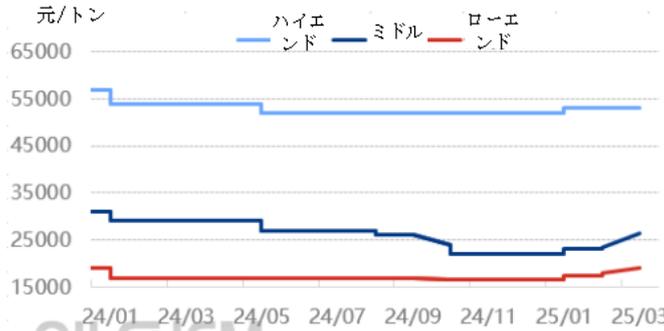
横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

3月、中国の負極材料市場の動向

2025年に入ってから、急騰する原料価格の影響により利益が激減し、赤字になった負極材料企業が続出した。下流側の大手電池メーカーと価格交渉を行った結果、負極材料の価格は上昇傾向を見せている。

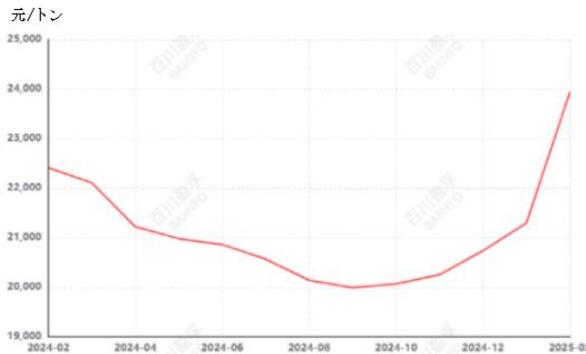
3月、人造黒鉛負極材料ミドル製品の価格は前月より3,000~4,000元/トン値上げの27,500元/トン（約57.06万円/トン、1元≒20.75円、以下同）で、17%上昇した。ローエンド製品の価格は前月より2,500元/トン値上げの20,000元/トン（41.50万円/トン）で、14.3%上昇した。2月の石油コークス価格が大幅に上昇したため、石油コークスを主要原料とする負極材料ミドル・ローエンド製品の価格上昇が明らかになった。



出典：隆衆資訊

図1. 負極材料価格の推移（2024年1月~2025年2月）

百川盈孚（BAIINFO）によると、2月の負極材料の平均コストは約23,944元/トン（49.68万円/トン）で、前月より2,644元/トン増加し、上昇幅は12.41%だった。2月末現在、原料の低硫黄分石油コークス価格は2月1日より1,755元/トン、ニードルコークス価格は1,350元/トン上昇した。



出典：百川盈孚（BAIINFO）

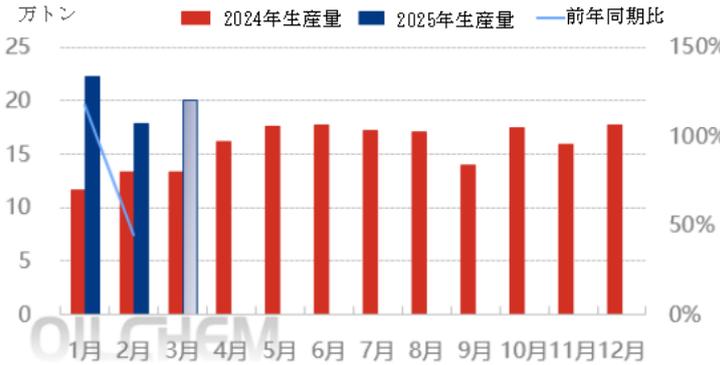
図2. リチウムイオン電池用負極材料のコスト推移（2024年2月~2025年2月）

CMI 株式会社

横浜市鶴見区鶴見中央2-12-30-105

TEL: 045-717-8575 FAX: 045-717~8683

2月、負極材料の生産量は17万9,200トンで、前月より19.64%減少した。産業全体の設備利用率は63.27%で、前月比15.69%減となった。



出典：隆衆資訊

図3. 月別の負極材料生産量の推移（2024年1月～2025年2月）

3月に入ってから、低硫黄分石油コークスの価格は低下し始めたが、負極材料企業の多くは2月に調達した高価な原料で生産しているため、赤字が続いている。

3月17日現在、人造黒鉛負極材料ミドル製品は1トン当たり2,470円の損失となり、前月より835円減少したとの報道であった。

表1. 人造黒鉛負極材ミドル製品と原料の価格

製品別	金額 (元/トン)		
	3月17日	2月17日	増減幅
石油コークス	4,926	5,776	▽850
ニードルコークス	6,500	6,500	0
人造黒鉛負極材ミドル製品	27,500	23,500	4,000
ミドル製品の利益	-2,470	-3,305	835

出典：隆衆資訊

情報源：石墨盟